

とままえ

6

No.670



風かおる
人が輝き
躍動するまち



古丹別小学校

まちひと百景

泥だらけも田植えに夢中!

学社融合事業で行われた田植えの様子。

最初は泥の感触に慣れず前進するのが大変で転倒をかうじてふせいだ写真の一コマ。

笑顔もありながら真剣に取り組む姿が印象的だった。児童達はなかなかまっすぐに植えることが難しかったようだが、大人になったらまたチャレンジしたいと言う感想が多く、非日常的な体験を楽しんでいた。

- 平和の鐘奉賛会ほか… 2
- 商工会通常総会ほか… 3
- 苫前建設協会安全大会ほか… 4
- 留萌地方法人会苫前支部ほか… 5
- 健康ばんざい… 6
- 地域包括ケアだより… 7
- 介護保険ガイド… 8
- 国民年金ほか… 9
- 学びの広場…10
- 住まいる情報…11~13
- ちびっこギャラリー…14

まちの人口

人口/3,236人 (男/1,533人 : 女/1,703人)
世帯数/1,572世帯 (5月31日現在)

戦争のない平和な社会を！～平和の鐘奉賛会による慰霊法要を開催～



5月14日(日)古丹別緑ヶ丘公園内で平和の鐘奉賛会(伊藤通康会長)による慰霊法要が開催され、留萌管内各地より約50名の遺族が参列し執り行われた。

伊藤会長は「戦争の惨禍を知るものは少なくなってきた。恒久的な平和実現のため、今後も平和の鐘慰霊祭は続けていく」と挨拶した。

小澤哲也副町長も「国際社会は依然としてテロ組織をはじめとする武力行使が頻繁に行われており、恒久平和を訴えていかねばならない。今後も平和の鐘慰霊祭が継続して挙行されることを切望する」と述べた。

少年少女が真剣勝負 ～東西対抗・個人選手権・栄花杯～

個人選手権入賞者

小学2年以下の部
第2位 後藤 皓斗
第3位 小野寺龍太

小学3・4年生男子の部
第3位 後藤 祐人

小学3・4年生女子の部
第2位 佐井 暖来

苫前町のみ掲載

5月14日(日)苫前中学校体育館で第54回留萌管内少年少女東西対抗剣道大会・第44回留萌管内少年少女個人選手権大会兼第2回栄花杯争奪剣道大会が、管内7市町と宗谷管内幌延、豊富両町から約100名の小学生が出場し熱戦をくりあげた。

また大会の後半では小坪町以南を東軍、苫前町以北を西軍として試合が行われ、通算成績27勝17敗14分で西軍が勝利した。



5月14日(日)に第46回目となる古丹別緑ヶ丘公園さくらまつりが同公園内で開催された。

今年は昨年同様に開花の時期が早まり、エゾヤマザクラは見ごろを過ぎたがチシマザクラは満開に咲き誇り、絶好の花見日和に恵まれたため、町内はもとより羽幌、留萌などから約1千2百名の行楽客でにぎわった。

さくらまつり実行委員会の渡部一男実行委員長と森町長の挨拶の後、宴がはじまった。



桜まつりにぎわう～第46回古丹別緑ヶ丘公園さくらまつり～



武山あきよさんの歌謡ショーでは、オリジナル曲や民謡などを披露した。また、ご当地キャラクターの「くまだとまお」くんも会場に姿を見せ、会場内での記念写真に大忙しだった。

今回はじめての企画となった苫前商業高等学校書道部によるパフォーマンスでは、「桜舞散る」を一気に書き上げ、会場から大きな拍手があがった。

カラオケ大会では大勢の方が参加し、自慢のうた声を披露し大きな拍手とともに、おひねりが届く参加者もいるなど大いに盛り上がった。

販売ブースでは、商工会女性部や古丹別商業部会などがそばやたこ焼きなどを販売、買い求める人でにぎわっていた。



第57回 苫前町商工会通常総会を開催



5月18日(木)とままえ温泉ふわつとで第57回苫前町商工会通常総会が小澤副町長ほか来賓等あわせて約50名が参加して開催された。

渡部和人会長は「人やモノ、商圏を守る、事業の継続、後継者問題は重要な課題と想っている。専門員もいて支援を行う準備はできている。入ってよかったと思われる商工会になるよう一丸となつてまい進したい」と挨拶した。

この後、平成29年度事業で前年に引き続きプレミアム地域振興券の販売を行うなどを含めた議案4件すべてが可決承認された。

今年の「まちなかサロン」はじまる ～誕生会やカラオケなど楽しく～

まちなかサロンは、町民生委員児童委員協議会や町内会・婦人会など関係団体で実行委員組織を立ち上げ運営しており、10月末までの毎週金曜日苫前福祉センターで開催している。

第1回目の講話は苫前駐在署の江本孝幸所長と竹本裕一郎駐在署員、さまざまな特殊詐欺を解説して注意を促し、家族や知人・友人・警察への相談を呼びかけた。

5月19日(金)苫前福祉センターで今年度の「まちなかサロン」が開設した。この日は17名が参加、半年ぶりの再会に笑顔を交しあわせた。また、初回ということもあって、森町長もかけつけて親しく挨拶、元気な様子をみて喜んだ。



月尾嘉男自然塾公開講座 ～日本が世界地図から消滅するの?～



5月19日(金)午後6時よりとままえ温泉ふわつとにて月尾嘉男東大名誉教授を塾長とした公開講座として「日本が世界地図から消滅しないための戦略」をテーマに講演、管内市町村や塾生、一般住民を合わせ55名が参加した。

月尾塾長からは、繁栄国として歴史に名を残しながら滅びたカルタゴからの教訓として「経済本意でお金だけをもうければいいという国家は脆弱(せいじゃく)であり、文化や倫理が大事だ。他国からの誹謗(ひぼう)中傷も放置しては駄目、変化の拒否は国力弱体化の原因」などと述べた。

また、日本の多様な文化などについても解説し、日本はクール(かっこいい)な文化大国として世界に売り出していくことを提言した。

小学生体験教室TDKがはじまる ～遠足で5km歩く～

低学年の子ども達にはちょっと難しいようだったが、異学年で交流がはかれて楽しい遠足だったようである。

各班的リーダーは上級学年が行い、下級生の面倒を見ながら、ルールを確認し出発、風来望では風車の内部を見学、続いてホワイトビーチ、オートキャンプ場を見学、最後は苫前神社で町有形文化財の指定を受けた石籠、狛犬などの歴史を学んだ。

5月21日(日)社会教育課主催事業の苫前町少年少女体験教室(略してTDK)の第1回目の事業が開催され、遠足として郷土資料館から風来望ホワイトビーチ、下町を經由して神社を回る5kmのコースで1、2年、3、6年生を混ぜて5グループ20名の子ども達に参加した。



無災害へ、誓いを新たに ～苦前建設協会安全大会～

5月26日(金)公民館で苦前建設協会(奥山和彦会長)の第24回安全大会が同協会加盟事業所から来賓を含め約100名が参加し開催された。

奥山会長は「安全を最優先し、事故をなくするのが私たちの願い。潜在的な危険を意識し、労働災害ゼロに努めたい」とあいさつした。

森町長らの祝辞の後、「交通事故防止について」と題して羽幌警察署の唯野真史地域交通課長の講話により交通安全の徹底について改めて確認した。このあと建設災害の抑止と交通事故の防止を含めた決意宣言が行われた。



花を植えて、環境美化を ～平成29年度フラワースマイル事業～



5月27日(土)平成29年度フラワースマイル事業が開催され、苦前・古丹別地区あわせて約100名が参加、花植え作業を行った。

古丹別地区は例年どおり公民館周辺で、苦前地区は苦前花愛好会(猪股正博会長)が管理する三角点スキー場の花壇及び郷土資料館周辺の2箇所を実施した。

町コミュニティ推進協議会の斉数範章会長がこのフラワースマイル事業には、次世代交流と地域の環境美化の推進。そして花愛好会による美化運動にも町内会として協力をしている。たくさんの参加をいただき感謝する」と挨拶、曇り空で雨が今にも落ちそうな天候の中、両地区あわせてマリールーゴルドやジニア(百日草)など1千本の花を植えた。

ゴミ拾いをして住みよいまちを！ ～子ども会育成連絡協議会クリーン作戦～

町子ども会育成連絡協議会(早川日出利会長)主催のクリーン作戦が5月27日(土)に開催、町内一斉にゴミ拾い活動が実施された。

雪解けの後に残った多くのゴミを拾って、まちをきれいにする目的で毎年開催されているもので、今年はずっと子ども会と育成者など約220名が参加した。

開会式で挨拶や注意事項などを確認した後、それぞれの子どもの区域を老人クラブ、婦人会の参加者と一緒にゴミ拾いを行った。

同協議会によると、ボランティアごみとして破砕ゴミ五十キ口、一般ゴミ三十五キ口が集まった。



有事に備え、本番さながらに訓練 ～苦前町消防団総合演習～



5月28日(日)に役場駐車場で苦前町消防団(瀬川信昭団長)の総合演習が実施された。

森利男町長、浅野貴博道議、佐野光治羽幌警察署長らによる服装点検、関団、機械器具点検に続いて、古丹別分団の訓練礼式、苦前分団選抜チームによる小型ポンプ操法が披露された。

国道232号線く苦前二丁目線く苦前西一条線を分列行進したあと、認定苦前子ども園から出火の想定で、通報から到着消火準備、放水などの訓練を本番同様迅速に行っていた。

実りの秋へ向け田植え作業 ～学社融合事業「田植え」～

4月に苦前・古丹別小学校それぞれで初まきを行った苗が約15センチほどに成長し、この田植えを迎えた。

たて・よこ3.3mの水田に入り、慣れない手つきながらも我慢強く田植えを行った。

この日は、農協青年部普及センターなどの関係者が集まり指導。植えた苗は農協青年部らが成育を見守るが、7月には成育調査を実施、9月下旬頃には鎌を使った稲刈りが実施される。



苦前小学校

古丹別小学校

苫前町内会へ耕耘機を寄贈 ～社団法人留萌地方法人會苫前支部～

同町内会の斉敷会長は、「福祉センターの行き帰りに花を愛でるなど、住民の憩いの場になっている」と日頃の努力に感謝していた。

留萌地方法人會苫前支部では、会員の積極的な自己啓発を支援、社会の健全な発展に貢献するための活動をしている。贈呈を受けた同町内会では、環境美化整備をする苫前花愛好会(猪股正博代表)に活用してもらおうとしている。

5月17日(水)苫前三角点スキー場にて社団法人留萌地方法人會苫前支部(山本啓二支部長)から苫前町内会へ環境美化整備で活用できる耕耘機が贈呈された。



地域社会貢献事業

まちの施設を整備していただきました

古丹別小学校学校菜園整備 ～協和・三國経常建設共同企業体、協栄・能登経常建設共同企業体～



古丹別地区教員住宅建設工事を実施している協和・三國経常建設共同企業体及び協栄・能登経常建設共同企業体が古丹別小学校の菜園整備を5月20日(土)に地域社会貢献事業として実施した。

古丹別小学校隣接の学校畑が、土が粘土質になっていることやすぐ下に砂利層があるため作物の生育状況が思わしくない状況でした。学校の希望どおり砂利の取り除きと土の入れ替えを実施していただきました。ありがとうございました。

古丹別中学校駐車場等のライン引き ～北央道路工業(株)～

北央道路工業株式会社(澤口二郎代表取締役社長)が、古丹別中学校駐車場のライン引きと排水溝付近の路面補修を5月27日(土)に地域社会貢献事業として実施した。

これから体育大会や学校祭など駐車帯が来場客でいっぱいになる中、駐車帯が見えない状況であったり、路面が経年劣化ではがれていたりしていました。

ラインも見やすく路面補修もキレイに実施いただきました。

ありがとうございました。



上平地区の町道修繕 ～堀松建設工業(株)・萌州建設(株)～



苫前漁港建設工事を実施している堀松建設工業株式会社(堀松一郎代表取締役社長)と、古丹別川広域河川改修工事2工区(補正・繰越)を実施している萌州建設株式会社(畑中修平代表取締役)が、上平地区の町道修繕を5月19日(金)に地域社会貢献事業として実施しました。

走りやすい砂利道になりました。

ありがとうございました。

とまおくん看板設置とシールの寄贈 ～堀松建設工業(株)～

苫前漁港建設工事を実施している堀松建設工業株式会社(堀松一郎代表取締役社長)が、地域社会貢献事業として町のキャラクター「くまだ とまお」くんを使用した工事看板の設置と、とまおくんのシールを町へ寄贈した。

とまおくん誕生以来、町民はもとより町外の方にも知ってもらうために、現在積極的にPRをしている最中であり、看板設置やシールの提供はこれからのPRに有効な手段になります。

ありがとうございました。



健康ばんざい
「子どもの歯の健康」

今月の担当は 水野管理栄養士 です

★6月4日～10日は歯の健康週間です

子どもの頃にむし歯が多かった人は、大人になってからもむし歯になりやすくなったり、歯並びが悪くなったりとお口のトラブルが多くなります。何歳になっても元気で生活するためには幼児期から歯と口の健康を保つことが大切です。

★苦前町の子どもの歯があぶない

苦前町の3歳児を対象とした歯科診察では、むし歯を持つている3歳児の割合は増加傾向にあり、北海道や留萌管内の平均を上回っています。

		H25	H26	H27
う歯有病率 (%)	町	18.5	33.3	47.8
	管内	26.8	28.8	25.7
	道	21.1	20.4	19.7
平均う歯本数 (本)	町	0.81	1.00	2.00
	管内	1.2	1.37	1.07
	道	0.84	0.81	0.77

★むし歯ができるメカニズム
歯は、食事の度にむし歯菌により溶かされていますが、だ液が初期のむし歯を修復します(再石灰化)。

しかし、糖分が含まれている食べカスが歯のみぞや歯と歯の間に付いていると、むし歯菌が増殖して酸を作り、歯を溶かしていきます。

糖分(砂糖)をとならければむし歯はできませんが、糖分をまったくとらない生活は不可能です。大人も子どもも食べた後は丁寧に歯磨きを行うことが大切です。

★上手なおやつを食べ方

①砂糖を多く含む食品を避ける
砂糖を含む食品を食べると口の中が酸性になり、むし歯菌が増殖しやすくなります。特に菓子パン・チョコ・ジュース類などの歯に付着しやすい食品や、アメ・キャラメル・砂糖入りガムなど食べるのに時間がかかるお菓子はむし歯になりやすいため、これらの食品を食べる時は注意が必要です。

②おやつは時間を決めて食べる

おやつを食べる時間を決めずにちょこちょこ・ダラダラ食べをしていると、再石灰化する時間がなくなってしまいます(下図)。

③ジュースを飲んだ後は水やお茶を飲む
果汁入りジュースやスポー

ツドリソクなどの甘味飲料に含まれる糖分は歯に付着しやすく、むし歯の原因になります。飲みたくてもすぐに歯磨きができない時は、飲んだ後に水やお茶を飲むと口腔内の洗浄効果があります。

★子どものむし歯予防事業

【健診での歯科相談・診察】
乳児健診では歯科衛生士による歯科相談、幼児健診では歯科相談と歯科診察を実施しています。

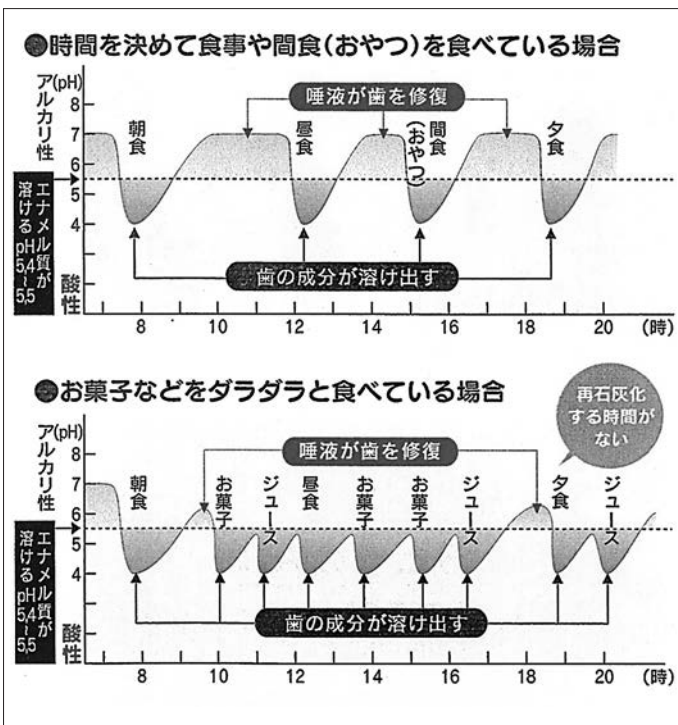
【歯科検診とフッ素・サハライド塗布】
子どものむし歯予防には、

普段の食事や歯磨き習慣に加え、フッ素塗布を半年に1度

行うことが推奨されています。苦前町では1歳～5歳未満のお子さんに歯科診療所での歯科検診及びフッ素・サハライド塗布を4回まで公費負担をさせていただきます。(対象の方には春と秋に受診票を交付しています)

【フッ化物洗口】

乳歯から永久歯に生え替わる幼児期、学童期にかけてフッ化物洗口を開始・継続することで永久歯の成熟を助け、再石灰化を促進する効果が認められています。そこで、苦前町では保育所や学校で希望者に対し、継続的にフッ化物洗口を実施しています。



《管理栄養士からのお知らせ》★間食を食べた方がいい??

最近、「間食をとった方が体にいい」という話題を耳にします。むし歯の原因や肥満の大敵といわれる間食ですが、とり方によっては良い効果をもたらします。

例えば、仕事などで夕食時間が遅くなる場合、夕方に間食を摂ることで夕食の食べ過ぎを防ぐ効果があります。また、胃の容量が小さい幼児や、育ち盛りの中高生などは食事だけでは補いきれない栄養素を補給できます。最近は食物繊維の豊富な菓子類も販売されています。砂糖や油の多いお菓子やジュース類は栄養価が低く、むし歯や肥満の原因になりやすいので不向きです。

おすすめ食材

- * 乳製品
- * ナッツ類
- * 果物
- * 食物繊維の多い菓子類



元気いきいき教室同窓会

5月23日(火)、とままえ温泉ふわっと風Wホールを会場に「第4回元気いきいき教室同窓会」を開催しました。

この同窓会は、先月の広報で紹介した「元気いきいき教室」を前年度までに修了した方を対象に、継続して運動機能の維持・向上等の介護予防に取り組めるよう、地域リハビリテーション活動支援事業として平成26年度より年1回実施しており、今回は卒業生54名中27名の参加がありました。

元気いきいき教室の講師でもある渡辺理学療法士と北風言語聴覚士を迎え、講話と実技指導を受け、日ごろ実施している元気いきいき体操のポイントなどを振り返る機会となりました。

また、町内で初めて開設された住民主体の通いの場である「旭親老人クラブいきいきサロン」(詳細下段)の活動報告があり、報告した旭地区幹事の石川秀子さんから、「現在、会館建て替えのため生きがいデイサービスセンターにて毎週火曜日の10時から12時まで、元気いきいき体操や茶話会を行っており、今後はお口の体操も行うので、旭地区に限らず他の地区の方もぜひ一緒に行いましょう!」と参加の呼びかけがありました。



住民主体の通いの場「旭親老人クラブいきいきサロン」の活動報告

平成28年9月27日より開設された、町内初の「住民主体の通いの場」が活動から半年を経過しました。このサロンは、旭親老人クラブが中心となって運営していますが、事前に老人クラブの役員と旭地区の町内会長、役場保健福祉課職員が打ち合わせを行って、開設日や実施時間などを決定しました。町内会長からは、サロン開設についてご理解をいただき、会場となる地域の会館の光熱費などを町内会に負担していただいています。運営経費などに活用できる町の補助金についても紹介しましたが、不要とのことを受けていません。

開設当初から、「老人クラブ会員だけでなく、若い人も自由に参加できるサロンにしたい」「他の地区の人も興味があれば参加できるように開放的なサロンにしたい」「都合に合わせてサロンの出入りは自由なので、体操だけの参加も可能」と話されています。平成28年度の実績は、開催回数22回(20回以上の参加者6名)、延べ参加人数273名(1回当たり平均12名、最大22名)でしたが、最近では、参加者それぞれがサロンでやってみたいこと(体操や歌など)を持ち寄って活動している様子が見られ、さらに活性化しています。

こうした各地域でのサロンの立ち上げについて、今後も支援していきますので(旭地区での取組の歩みなど)、興味にある方はお問い合わせください。



◆事業のお知らせ◆

7月20日(木)の寿いきいき教室は、毎年好評をいただいている音楽療法士の畠山悠子氏を講師に迎え、苫前町公民館で9時30分より開催します。また、前日の7月19日午後からは、同じく畠山先生による「すまいる塾(ボランティア養成講座)」の開催を予定しています。

お問い合わせ

苫前町地域包括センター ☎64-2215